

## 田中雅文先生の定年ご退職に寄せて

教育学専攻主任  
藤田 武志

田中雅文先生は、本年度をもって定年ご退職とされます。教育学科および教育学専攻一同、先生のご退職を心よりお祝い申し上げます。また、これまで先生が本学科・専攻のためにご尽力されてきたことに、心から感謝申し上げます。

田中先生は、1979年3月に東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程を修了された後、三井情報開発株式会社総合研究所にお勤めになりました。その後、1989年8月に国立教育研究所生涯学習研究部に移られ、研究員、主任研究官、生涯学習体系研究室長を歴任なさいました。そして1997年4月に日本女子大学人間社会学部教育学科の助教授として赴任され、2002年に教授に昇任、合計で26年の長きにわたって日本女子大学のために尽くしていらっしゃいました。

先生のご専門は生涯学習論です。市民活動・地域活動を通じた子どもや大人の学習・成長に関心を持ち、ボランティア、地域づくり、NPO、コミュニティといったキーワードを中心に研究活動を展開なさっています。代表的なご著書としては、『現代生涯学習の展開』（学文社）や、博士論文をもとにした『ボランティア活動とおとなの学び—自己と社会の循環的発展—』（学文社）などがあります。また、日本生涯教育学会の理事、日本社会教育学会の理事や副会長、日本学習社会学会の理事などを歴任され、この分野での第一人者として長く活躍していらっしゃいました。

社会的活動としては、文部科学省の「生涯学習分野におけるNPO推進委員会」委員、「民間教育事業者との連携に関する研究会」委員、「NPOを核とした生涯学習活性化推進委員会」委員、「新しい時代に対応した統計調査の推進に関する検討会」委員、川崎市「かわさき教育プラン策定委員会」委員、東京都武蔵野市「グリーンマスター制度検討委員会」委員長、「川崎市教育改革推進協議会」委員など、国や地方公共団体の政策策定に関わるお仕事を多くなさっています。それに加え、川崎市社会教育委員、東京都社会教育委員・議長、国立女性教育会館運営委員、神奈川県「かながわコミュニティカレッジ」運営委員会座長、東京都三鷹市生涯学習審議会・社会教育委員会議会議長、埼玉県所沢市公民館運営審議会委員、東京都市町村社会教育委員連絡協議会会長、東京都文京区アカデミー推進協議会副委員長、川崎市教育委員、東京都国分寺市公民館運営審議会委員など、教育の現場により近いところでも教育の運営に関わる要職を多く務めていらっしゃいました。さらには、日本生態系協会「全国学校・園庭ビオトープコンクール」審査委員、全国公民館連合会「月刊公民館編集委員会」委員、国立女性教育会館「研究紀要（研究ジャーナル）編集委員会」委員、日本女性学習財団「子育て支援者の資質

向上のための事例研究及びプログラム開発事業」委員長など、実にさまざまな角度から教育の発展に寄与なさってきました。

日本女子大学では、学生生活部・学務部副部長、生涯学習センター副部長、教育学科長などの各種の役職を務められました。特筆すべきことは、教育学科長を2012～2013年度、2016～2017年度、2022年度の複数の年度に渡ってご担当くださり、本学科に多大な貢献をなされたことです。先生のお人柄と学識、そしてリーダーシップのもとで、本学科はいくつもの難局を乗り越えてこられたと大いに感謝しています。

上記のような、先生の数々の研究業績やお仕事の成果を顧みますと、本学科・専攻のみならず、本学全体の発展に大きく寄与していることに、改めて敬服の念が湧いてきます。そのため、先生のご退職は甚大なダメージであり、心細さも大きくなるばかりです。

田中先生には、生涯学習の分野でこれからもお元気でご活躍なさるとともに、教育学科・専攻の行く末を長く見守ってくださるようお願いいたします。長い間、本当にありがとうございました。